

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

事務事業コード	133702		※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。											
事務事業名	いたみ総おどり普及啓発事業							担当部局・課	市民部 まちづくり課			評価結果 C 上位施策に対する貢献度はやや低く、より効率的・効果的な事業のあり方について検討が必要。		
事業内容	いたみ総おどりカーニバルの開催。練習会への講師派遣他							事業開始(予定)年度						
								平成14年度						
								事業終了(予定)年度						
—														
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現											
		項目	きめ細かな地域福祉の推進											
		施策	総合的なコミュニティ施策の推進											
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。													
事業の目的	多くの市民が「総おどり」に集うことにより、多世代間の交流・連帯を深めるとともに、地域コミュニティ意識の醸成や青少年の健全育成等に寄与することを目的とする。							予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 総務費 (項) 総務管理費 (事項) ふるさとづくり推進事業費 (目) 文化コミュニティ費					
事業費等の概算	平成17年度(決算)							平成18年度(予算)						
	事業費	1,000千円	財源内訳					事業費	1,000千円	財源内訳				
			国・県補助金等		—					国・県補助金等		—		
			市 債		—					市 債		—		
			その他(使用料等)		—					その他(使用料等)		—		
			一般財源(市税等)		1,000千円					一般財源(市税等)		1,000千円		
	投入人員	0.30人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)					投入人員	0.30人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)				
	人件費	2,570千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。					人件費	2,570千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。				
	経費合計	3,570千円						経費合計	3,570千円					
活動指標	指標名(単位)	来場者数(人)						計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度			
	意味・算式等	総おどりへの来場者数							計画値	2,000	3,000			
									実績値	2,000				